

## 第一幕

### THE 書 ~数寄者が集めた古筆、お見せします~

2017年4月8日[土] - 5月28日[日]

流麗な筆致、工夫を凝らした料紙、古人の遺した美しい書の数々は、書の愛好者のみならず茶の湯の世界でも愛好されてきました。数寄者をも魅了した書の作品をご覧ください。



佐竹本三十六歌仙切 藤原高光 高野切第三種 堺色紙

主な展示品 重要文化財 ◆ 佐竹本三十六歌仙切 藤原高光 伝藤原信実絵 伝後京極良経書  
重要文化財 ◆ 緋色紙「あまつかぜ」伝小野道風筆  
重要文化財 ◆ 古筆手鑑 谷水帖 二十四葉  
重要美術品 ◆ 石山切 伊勢集断簡「ぬきたため」伝藤原公任筆  
重要美術品 ◆ 白河切 後撰集断簡「人のもとに」伝西行筆

## 第二幕

### 開け! 絵巻

2017年6月10日[土] - 7月30日[日]

説話や物語の場面場面、絵画にも表す絵巻。見進めるにつれ、作品の世界に知らず知らずの内に入り込んでしまいます。細やかに描かれた人物・場景・季節などが次から次へと現れ、私たちの眼を楽しませます。この展示では、重要文化財に指定された経巻も併せて陳列し、巻物形式の作品の淵源を示すこととします。



芦引絵(部分) 大江山絵詞(部分)

主な展示品 重要文化財 ◆ 大江山絵詞  
重要文化財 ◆ 芦引絵  
重要文化財 ◆ 白描絵料紙金光明経 卷第二断簡(目無経)  
重要文化財 ◆ 十卷抄  
重要文化財 ◆ 楞伽経 卷第二

## 第三幕

### 茶の湯道具始 <sup>どうくはじめ</sup> -ようこそ<sup>コレクター</sup>収集家の世界へ!

2017年8月26日[土] - 10月15日[日]

逸翁が蒐集した作品の中には、数多くの茶道具があります。茶の湯を愛した逸翁は、集めた様々な道具を用いて茶会を開き、多くの数寄者と交流しました。この第三幕の展示では、逸翁が集めた茶道具を紹介しながら、収集家(コレクター)の世界へご案内します。



豊臣秀吉画稿 青磁貼花牡丹文大香炉 黒樂茶碗 惺斎道銘「老松」

主な展示品 重要文化財 ◆ 豊臣秀吉画稿 伝狩野光信筆  
竹一重切花入 千利休作  
黒樂茶碗 仙叟銘「千鳥」 樂長次郎作

## 第四幕

### ひねもす 蕪村 絵と俳句

2017年10月28日[土] - 12月17日[日]

松尾芭蕉を慕った与謝蕪村。そんな蕪村には、彼を敬った多くの弟子達が存在しました。四幕では、俳句や絵画を通じて感興を深め合った彼らの交遊を、数々の作品から探訪します。蕪村世界の広がりをお楽しみください。



奥の細道画巻(部分) 晩秋遊鹿園屏風(右隻)

主な展示品 重要文化財 ◆ 奥の細道画巻 与謝蕪村筆  
重要美術品 ◆ 晩秋遊鹿園屏風 与謝蕪村筆  
間夜漁舟図 与謝蕪村筆

## 第五幕

### 応挙は雪松、呉春は白梅。

2018年1月20日[土] - 3月11日[日]

円山四条派コレクションとしては日本最大規模を誇る蔵品の中より、応挙の創始した円山派と呉春の創始した四条派、ともすれば1つとして語られがちな2つの流派のそれぞれ代表作を展示することにより、同時代を駆け抜けた画家たちが織りなす、華やかな京都画壇の魅力を紹介いたします。



白梅図屏風

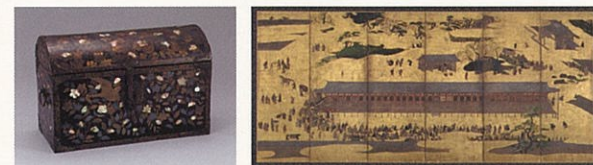
主な展示品 重要文化財 ◆ 白梅図屏風 呉春筆  
重要美術品 ◆ 秋夜掃衣図 呉春筆  
雪中松園屏風 円山応挙筆  
牡丹孔雀園 長沢芦雪筆

## One more

### 未来につなぐ <sup>デザイン</sup>和の意匠力

2018年3月24日[土] - 5月6日[日]

縄文・弥生、はるか昔に作られた物の姿や図柄に、現代の私たちも新鮮な印象を覚えます。それぞれの時代の日本人が生み出した文様や意匠は、歴史の中で繰り返し用いられ、様々な美術工芸品の上に形を変えて親しまれてきました。60周年最後を飾る本展では「平明」「遊楽」「静寂」の3つのテーマで作品を選び、未来につなぐ和の意匠(デザイン)力を示してみたいと思います。



花鳥蒔絵螺鈿洋櫃 三十三間堂通矢図屏風

主な展示品 重要文化財 ◆ 花鳥蒔絵螺鈿洋櫃 付属藤編外櫃  
重要文化財 ◆ 三十三間堂通矢図屏風  
重要美術品 ◆ 古瀬戸印花菊文瓶子  
重要美術品 ◆ 芒蒔絵棚  
重要美術品 ◆ 袈裟褌文銅鐙 伝奈良県添上郡標本村出土